

たけはら町並み保存地区

# 浪漫てくてく 「たけはら」

一歩足を踏み入れると  
そこは漆喰壁と飴色の格子が続く  
いにしえの町並み。  
目をつむりそつと耳をすますと  
製塩と酒造の賑わいの時代へとタイムスリップ。



## 竹原くつろぎのお宿

- かんぼの宿 竹原 …… Tel 0846-29-0141
- ホテル賀茂川荘 …… ☎ 0120-55-8080
- ホテル大広苑 …… Tel 0846-22-2970
- 竹原シティホテル …… Tel 0846-22-8811
- 竹原シーサイドホテル …… Tel 0846-26-2236
- 休暇村大久野島 …… Tel 0846-26-0321
- グリーンスカイホテル竹原 …… Tel 0846-22-1355



## 祭

たけはら竹まつり 5月上旬  
たけはら七夕まつり 7月上旬  
たけはら夏まつり花火大会 8月下旬  
たけはら博覧の路 10月下旬



＜観光のお問い合わせ＞

### 竹原市産業振興課

〒725-8666 広島県竹原市中央五丁目1番35号  
Tel 0846-22-7745 FAX 0846-22-1113  
E-mail kankou@city.takehara.lg.jp  
ホームページ http://www.city.takehara.lg.jp/

### (一社)竹原市観光協会

〒725-0026 広島県竹原市中央一丁目1番10号  
Tel 0846-22-4331 FAX 0846-22-5065  
E-mail info@takeharakankou.com  
ホームページ http://www.takeharakankou.jp



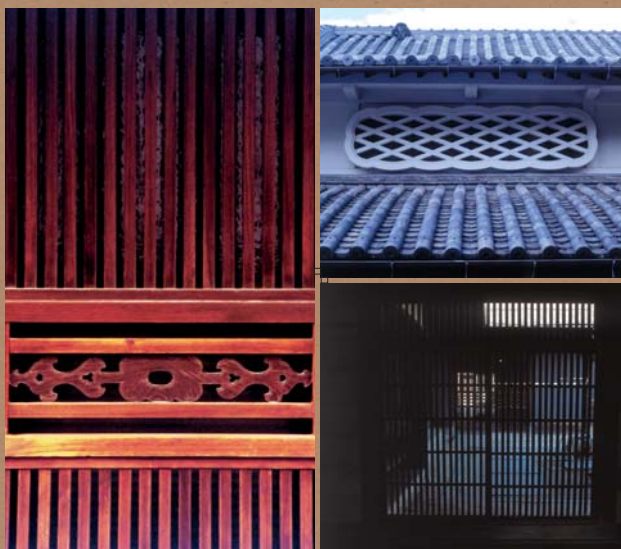
2018.1



## 竹原格子

飴色の木目にゆかしい  
歴史の息づかいを感じる

たけはらの町家の特徴は、一軒一軒に工夫が凝らされた  
さまざまな、格子が見られることです。  
格子は出格子と平格子、塗格子に分けられます。  
一階部分に多い出格子は、古いものは格子が太く着脱が  
自由になっています(吉井邸・大瀬邸)。  
虫籠窓や武者窓と呼ばれる二階の窓は塗格子が多く、  
簡略な出格子をはめ込んだものもあります。  
江戸時代の末になると、縦格子の中に横格子を加えるなど  
意匠を凝らしたものが作られるようになりました。



### 紙本著色竹原絵屏風(市重要文化財)

竹原絵屏風は江戸時代中期以降のもので、1800年頃の竹原の様子を克明に  
描いています。山手から本川を中心にして両側に立派な家々が軒を連ね行商人、  
旅人、武士、子供たちなど、いきいきと活気に満ちた様子が描かれています。南は  
沖口まで一面の塩田が広がり、当時の繁栄ぶりが偲べれます。

## 町並み 観光ガイド

所要1時間30分～2時間ほどの散策  
で、地元観光ガイドが美しい町並みを  
詳しくご案内させていただきます。  
2日前までの予約が必要です。



### ■たけはら観光ガイド会(道の駅たけはら内)

TEL/0846-22-7730  
FAX/0846-22-1201  
ガイド料/2,000円

※第3水曜日は  
休館日です。

## 頼山陽銅像

頼山陽(1781～1832)  
江戸後期に活躍した儒学者。  
安永9年12月27日、大阪江戸堀で生ま  
れ、広島で育ち竹原の文化を吸収し、  
最期は京都で亡くなりました。  
「日本外史」「日本正記」「通義」など  
の著書があり、幕末の志士に多くの影響  
を与えました。  
また、漢詩文「川中島」「天草洋泊」な  
ど書画にも通じ、日本全国の学者との  
交流も図っていました。  
その頼山陽生誕二百年を記念して、日本  
で初の銅像が竹原に建立されました。



## たけはら町並み周遊券

町並み保存地区の散策には、有料文化施設(森川  
邸・松阪邸・歴史民俗資料館・光本邸)を巡る、  
周遊券がお得です。

- 販売価格：600円
- 販売場所：竹原駅前観光案内処、  
道の駅たけはら、光本邸、  
森川邸、松阪邸、  
竹原市歴史民俗資料館



松阪邸〈市重要文化財〉  
唐破風の流れるような屋根と、菱格子の  
塗り込め窓が華麗な商家の邸宅。  
〈月曜休館・入館料200円〉



亀田邸  
犬矢来(の)の織細な千本格子が美しい亀田邸。  
家紋入りの軒丸瓦が時代を思わせます。  
〈外観のみ公開〉



春風館・復古館〈国重要文化財〉  
竹原で医者を開業した、頼山陽の叔父・頼春風の邸宅。武家屋敷風の  
雰囲気あふれる数寄屋風建築が実に見事です。〈通常は外観のみ公開〉



歴史民俗資料館  
江戸時代の「竹原書院」跡に建てられた洋  
館に、塩田関係の資料を展示しています。  
〈火曜休館・入館料100円〉



町並み保存センター  
映像で竹原の歴史や町  
並みを紹介しています。  
〈水曜休館〉



普明閣(西方寺)〈市重要文化財〉  
京都・清水寺の舞台を模して建てられたとい  
われる西方寺の観音堂。この境内や舞台か  
らは、竹原の古い町並みが一望できます。

### 森川邸〈市重要文化財〉

竹原塩田の1番浜跡地に建てられた豪邸。  
土間には、竹原の繁栄の礎となった  
塩田の作業風景を展示しています。  
〈木曜休館・入館料300円〉



竹鶴酒造 竹鶴政孝生誕の地  
古くから酒造りを営み、「小笹屋」  
の屋号で知られる竹鶴酒造は、ニ  
ッカウスキーの創業者で、「日  
本のウイスキーの父」と呼ばれる  
竹鶴政孝の生家でもあります。竹  
鶴政孝のウイスキーにかけた情  
熱と人生は、平成26年9月スタ  
ートのNHK連続テレビ小説「マッ  
サン」のモデルにもなりました。



### 吉井邸

母屋は竹原最古の1691(元禄4)年建築。  
広島藩の本陣としても使われました。  
〈外観のみ公開〉

### 光本邸

竹原出身の陶芸家。今井政之・眞正・  
裕之親子三人の作品40点を展示して  
います。  
〈金曜休館・入場料200円〉





**照蓮寺**  
竹原小早川氏代々の子弟の学問所。頼三兄弟をはじめ優れた文人を数多く輩出しました。国重要文化財の「高麗鍾(こまのかね)」や名園「小祇園(しょうぎえん)」。



**頼惟清旧宅<県史跡>**  
江戸後期、儒学者や詩人として活躍した文人、頼山陽の祖父・惟清が紺屋を営んでいた町屋。紺屋用、家事用、書道用の3つの井戸があります。



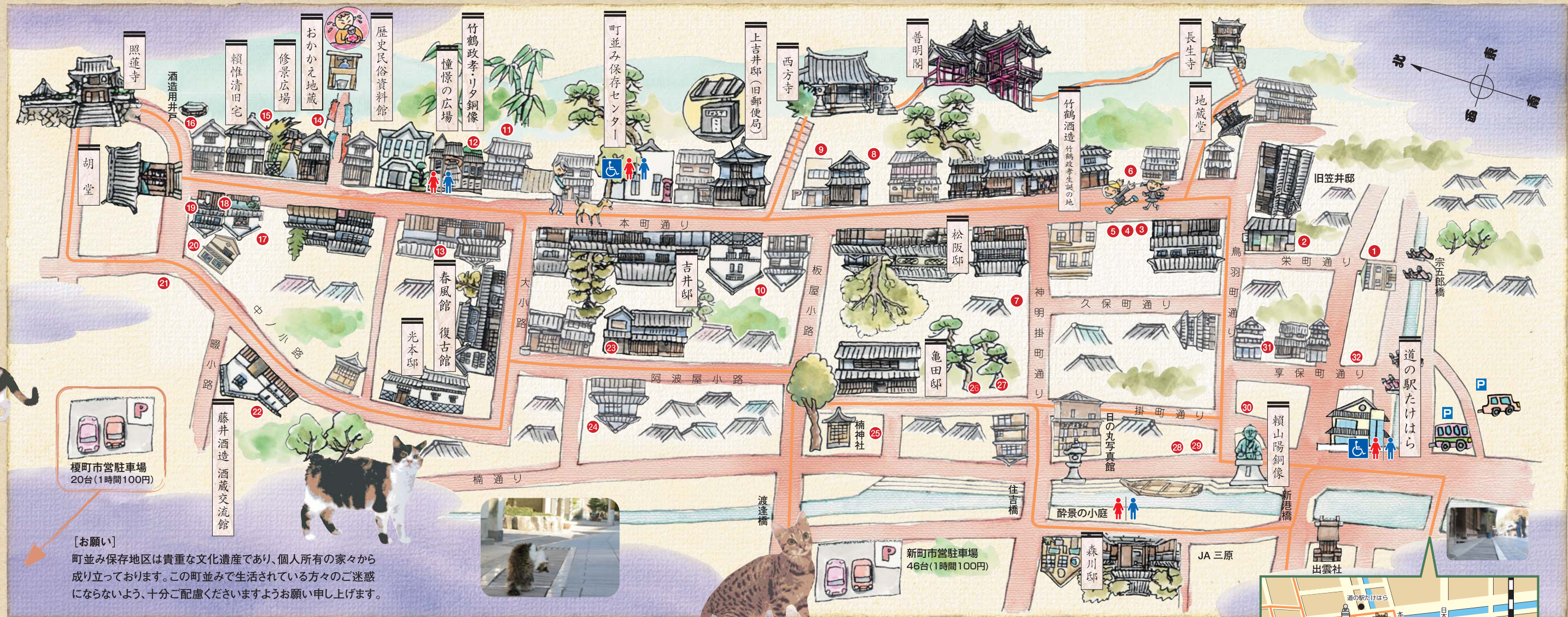
**おかかえ地蔵**  
お願い事を祈願しながら石のお地蔵さんをおかかえ、思ったより軽く感じられると願いが叶う!という言い伝えがあります。



**胡堂**  
大林宣彦監督の映画「時をかける少女」(1983年)で舞台となった胡堂。映画ファンなら一度は訪れてみたいスポットです。



**藤井酒造 酒蔵交流館**  
創業150年の酒蔵で日本酒の試飲ができる、お酒好きには嬉しいスポット。同じ蔵の一角にあるそば処「たにざき」では、地元の酒の仕込み水を使って打たれたそばを食べることができます。<月曜・祝翌日休館>



榎町市営駐車場  
20台(1時間100円)

【お願い】

町並み保存地区は貴重な文化遺産であり、個人所有の家々から成り立っております。この町並みで生活されている方々のご迷惑にならないよう、十分ご配慮くださいますようお願い申し上げます。



【施設・観光連絡先】

#### 市外局番 0846

- 道の駅たけはら Tel 23-5100
- 町並み保存センター Tel 22-1473
- 歴史民俗資料館 Tel 22-5186
- 光本邸 Tel 22-3934
- 松阪邸 Tel 22-5474
- 森川邸 Tel 22-8118
- 藤井酒造 酒蔵交流館 Tel 22-2029

- たけはら美術館
- 杏竹館
- ◆ JR竹原駅
- ◆ 山陽タクシー
- ◆ 安全タクシー
- ◆ 芸陽バス

Tel 22-3558  
Tel 22-5885  
Tel 22-1403  
Tel 22-2163  
Tel 22-0840  
Tel 22-2234

#### 市外局番 0846

- ① 松屋二重焼 Tel 22-0875
- ② 中沢酒店(お土産) Tel 22-2157
- ③ そば処 かの(手打ちそば) Tel 22-3028
- ④ ゆきちゃん(お好み焼き) Tel 22-3525
- ⑤ ぎやらい梅谷 Tel 22-2956
- ⑥ 陶工房 風土(ギャラリー・カフェ) Tel 22-5655
- ⑦ Cafe 青 Tel 22-3037
- ⑧ ほり川醬油(お土産) Tel 22-2475
- ⑨ 花みづき(プリザーブドフラワー) Tel 23-5457

- ⑩ ほり川(お好み焼き)
- ⑪ 竹楽(お土産)
- ⑫ のんびり亭(定食)
- ⑬ 茶房ゆかり
- ⑭ まちなみ竹工房(竹工芸)
- ⑮ 竹すずめ(お土産)
- ⑯ Gallery S(ギャラリー)
- ⑰ いっぶく(喫茶・軽食)
- ⑱ 黒田せんべい(手焼きせんべい)
- ⑲ 遊館(ギャラリー)
- ⑳ 御茶処しる(カフェ)
- ㉑ 古布くろたき

Tel 22-2475  
Tel 22-6170  
Tel 22-0122  
Tel 22-0973  
Tel 22-5637  
Tel 22-6816  
Tel 22-9696  
Tel 22-3876  
Tel 22-8891  
Tel 090-6845-0155

- ㉒ 酒蔵そば処(手打ちそば)(酒蔵交流館内) Tel 22-7131
- ㉓ ゆめ工房登夢想野(クラフト・ランプ) Tel 22-8927
- ㉔ 笛吹亭イルトラゲト(レストラン) Tel 24-6286
- ㉕ 菊寿堂(銘菓) Tel 22-0620
- ㉖ ドリユー(カフェ・ダイニング・バー) Tel 22-4684
- ㉗ 江戸そば遊山(手打ちそば) Tel 22-2996
- ㉘ 喜楽軒(中華そば) Tel 22-1437
- ㉙ いちかわ(銘菓) Tel 22-8338
- ㉚ 村上ペーカリー(パン) Tel 22-1512
- ㉛ 古布あまの屋 Tel 22-0822
- ㉜ たこ焼き天ちゃん Tel 22-3368



#### 安芸の小京都 【たけはら町並み保存地区】

遙か平安時代、京都下鴨神社の荘園として栄えた歴史から「安芸の小京都」と呼ばれる竹原。特に上市・下市には、江戸時代後期に製塩や酒造業で栄えたお屋敷や由緒あるお寺のある町並みが今もそのままに保存されています。



#### 本町通りくほんまちどおり>

寺山に沿ってゆるく曲がり、町の中心をはる本通り。通りの北端には胡堂、南端は町家に突き当たって直角に曲がり、全体の見通しを妨げるようになっています。

#### 大小路くおしょうじ>

大小路のような江戸時代の横丁は道幅が狭く、春風館の高い壁や長屋門の格子、漆喰壁が往時の雰囲気そのままだと伝えています。

#### 板屋小路くいたやしょうじ>

ゆるく湾曲した道路の両側に、漆喰で塗られた中二階、平入りの町家が競り合うように並び板屋小路。製塩の盛んな当時は、盛り場の雰囲気の賑やかな町でした。

このほか、片側に古くからの水路が通る中ノ小路や、奥行き深い町家の主家や蔵がそのまま残る西方寺前の小路など、道の性格によってその小路の雰囲気も様々です。狭い町でありながら、その当時の様々な暮らしを一度に見ることができる貴重な町並みです。